

## ◇視聴報告まとめ<2017年1月4日号>◇

### 報道ステーション

#### ○2017年始動

今年のキーパーソンとしてトランプ米国新大統領を挙げ、景気回復に期待する経営者やサラリーマンの声を取り上げた。

コメンテーターの真壁昭夫氏は、トランプ政権の経済政策を紹介しながら、短期的には世界経済の浮揚が期待できると述べ、日本の景気の先行きについても比較的楽観的な観測を述べた。

その一方で、懸念事項として反グローバリズム的な動きの伸長を指摘し、今年中に実施される仏大統領選・独連邦議会選で反EU勢力が台頭した場合、世界経済にとって大きなマイナスになりかねないと述べた。

後藤氏は、トランプ氏が中長期的に日本に防衛費増額を求める可能性に言及。

-----

#### (検証者所感)

真壁氏は、トランプ氏が掲げる移民の制限について、

「(移民は)米国経済にとって有利なポイント。移民は出生率が高いですから、人口が増えるということはモノが売れ、しかも労働力が増えるという事ですから、経済にとっては大きなプラス。ですが、それ(移民)を厳格に抑えるという事は、強みをカナナで削ってしまうようなことになりかねない」

と述べていたが、

新規に流入した移民の子供が労働力となり経済に貢献するまでには少なくとも十数年の時間がかかるため、中長期的にはプラスの経済効果を及ぼすとしても、短期的に見れば社会保障費の増加を引き起こす要因になりかねないのではないか。

トランプ氏の経済政策の要点のうち「減税」「規制緩和」「保護貿易」を紹介する際には、それらの政策と直近の米国経済そして世界経済への影響を述べていたにも関わらず、移民問題だけ中長期的な展望を語っていたのが気になった。